

那賀町(旧)桜谷小学校利活用  
地域に子供たちの賑わいを再び！  
～校舎を子供たちの遊び場に～

丸田康平（徳島大学都市デザイン研究室4年）

指導教員：森田椋也（徳島大学人と地域共創センター/  
徳島大学都市デザイン研究室）

事業コーディネーター：谷澤勇（株式会社もちもちデザイン）

# 企画趣旨振り返り

## ■企画趣旨

廃校となり、すっかり子供たちの元気な声なくなった桜谷小学校周辺地域も、高齢化が進んでいるため、那賀町内の小学生、及び町外・県外の子供たちを呼び、子供たちの元気な声を取り戻したい。

しかし、近隣の相生小学校からでも、課外授業に行くのは距離が遠いため、定期的には通えない。  
※相生小学校・岩佐校長談

授業やイベントではなく、常設できる子供たちの遊び場をつくれたら、子供たちも気軽に遊びに来れるのではないか。

## ■実施概要

現在の30代、40代の親世代が子供のころに流行った遊びである「ミニ四駆」。

現代でもいまだに一部に強い人気があり、YouTuberなどが各地のサーキットをめぐる配信活動をしている。

この「ミニ四駆」のサーキットを作り、子供たちが親とともに遊びにやってくることで、またYouTuberなど発信力のある人たちを呼び込むことによって、桜谷地域に活気が戻ってくるのではないか。

その仕掛けづくりとして、「ミニ四駆」のサーキットづくりを行う。



廃校となった旧桜谷小学校  
小学校=子供のためのものものという観点を大事にしたい。



ミニ四駆サーキット例

source <https://ameblo.jp/shiozaki-mokei/entry-12670841774.html>

# 実施要項振り返り

## ■実施日時

2022年4月～2023年3月

## ■場所

旧桜谷小学校近隣地域

## ■期待できる効果

- ・小学生が遊びに来ることにより、地域がにぎわう
- ・地域住民が、子供たちとともに元気になる
- ・町内外から注目され、「桜谷」という地域を知ってもらえ、関係人口が増える
- ・にぎわっている地域や注目度が高くなり、企業もサテライトオフィスを検討しやすくなるのではないか。

## ■スケジュール

- ・4月～5月 関係者説明会
- ・6月～7月 サーキット仮組み
- ・8月～10月 試走会実施
- ・11月 予算最終まとめ、本組み
- ・12月 「上那賀産業文化祭」で正式公開
- ・1月～3月 事業報告まとめ

## ■実施内容詳細

本事業は、徳島大学の学生が地域創生を学ぶ「STEM演習」「実践・地域創生学」という授業の題材として実施いたします。

学生はミニ四駆にはあまり親しんできていないことが想定されるため、ミニ四駆を知るために各自にマシンを配布いたします。

一般的に廃校やホビーショップに設置されているミニ四駆サーキットは、大掛かりなものであるため、話題づくりになるには大掛かりなものである必要があると考えます。そのため、常設とする必要があり、小学校の管理者である那賀町(行政)及び、地域住民の方に説明会を行い、常設の許可をいただいた上で設置を行います。

サーキットづくりにあたっては、まず仮組みを行い、近隣の子供たち等に実際に試走をしてもらう。その後、改善点等を洗い出し、足りない部品等を追加発注し、本予算の決定となります。

12月に「上那賀産業文化祭」というイベントがあり、そこでミニ四駆サーキットの正式公開を行い、リリースとなります。その後は、新聞などでPR活動を行い、誘致活動を行います。

# 実際の実施スケジュール

---

## ■実施日時

2022年4月～2023年3月

## ■場所

旧桜谷小学校近隣地域

- 5月 那賀町についての基礎学習#1（徳島大学内）  
事業コーディネーターを交えての基礎学習#2（徳島大学内）
- 6月 事業内容について町民とのディスカッション（那賀町相生庁舎）  
旧桜谷小学校の見学、ミニ四駆の試作（旧桜谷小学校）  
作成するミニ四駆サーキットについてのアイデアセッション（徳島大学内）
- 7月 事業コーディネーターを交えて、シミュレーションソフトを用いた製作案の検討（徳島大学内）  
ミニ四駆サーキットの仮組み立て（旧桜谷小学校）
- 10月 イベント「防災デイキャンプ」でのミニ四駆サーキット出展
- 11月 旧桜谷小学校利活用について町民とのディスカッション（那賀町相生庁舎）  
ミニ四駆サーキットの本組み立て（旧桜谷小学校）
- 12月 上那賀産業文化祭へのミニ四駆サーキット出展（旧桜谷小学校）

那賀町についての基礎学習#1（徳島大学内）



事業コーディネーターを交えての基礎学習#2（徳島大学内）



事業内容について町民とのディスカッション（那賀町相生庁舎）



旧桜谷小学校の見学、ミニ四駆の試作（旧桜谷小学校）



作成するミニ四駆サーキットについてのアイデアセッション（徳島大学内）



## 6月の現地訪問をふりかえって～学生コメント～

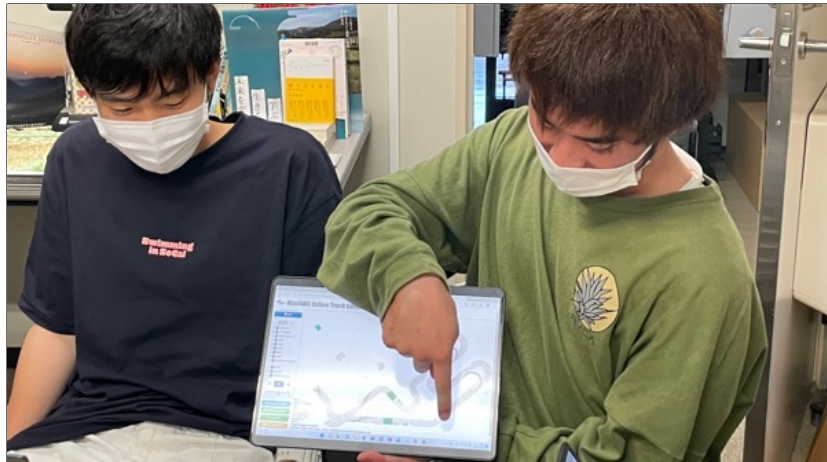
まず会議に参加して感じたことは、**那賀町の皆さんが地元である那賀町のことをすごく大切に思っていた**ということです。あの場にいた皆さんが那賀町を愛し、活性化させたいという思いが人一倍強く、自らあのような活動を行い、那賀町の特徴をからめ、那賀町の魅力を発信したいという気持ちが強いから、素晴らしく豊かな発想力を持ち、新しく良い案がどんどん出てくるんだなと思いました。その案を聞いているとすべて「なるほど」と納得でき、感心するものでした。またあの会議室には男性しかいませんでしたが、**zoom**で女性も会議に参加し、男性の意見だけでなく女性の意見もしっかり取り入れて会議を進め案を出していたので、幅広い人々をターゲットにしていることがうかがえました。さらに**誰かが案を出したらほかの人たちが頷きながら賛成したり、誰かが出した案にプラスアルファしてより良い案に仕上げたりと工夫していてすごい**と思いました。また桜谷小学校では人生初のミニ四駆を楽しく制作することができました。予想以上に速く走ったのですごいなと思いました。**私たちの世代はあまり遊んだことがなく聞いたこともないレベルだったのですが結構とりこになりました**。このことで、父親が連れてきた子供にも遊んでもらうという案を改めて理解することができました。（学生Yさん）

今回那賀町を訪問して、僕は**地域の方々が地域について真剣に向き合い、意見を出し合っている場を初めて見させて頂きました**。

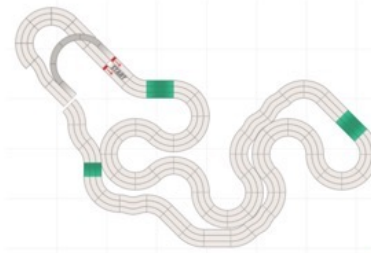
まず、地域再生塾定例会では明るい雰囲気でありながらも皆さんが強い意志を持たれていて、**地元愛の深さや熱意をととても感じる事ができました**。そして、これまで全く知らなかった那賀町について知りたくなったと同時に、「小さな提案でも実行できるかもしれないから言って欲しい。」と言って頂いて自分が**この活動を通して少しでも那賀町の力になりたい**と思いました。観光マップを見て、那賀町は豊かな自然に囲まれ、その魅力ある風景は必ず来た人の思い出になると感じました。これをたくさんの人に知ってほしいです。

**旧桜谷小学校の見学では、町のスギに囲まれて良い香りのする空間の居心地がとても良かった**です。誰もが訪れたいと思える場所になっていると感じたので、これからの取り組みでは、そういった人たちを**実際に足を運ばせられるように考えていきたい**です。（学生Hさん）

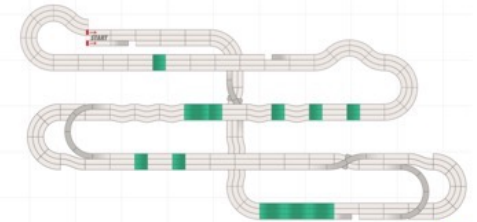
事業コーディネーターを交えて、シミュレーションソフトを用いた製作案の検討（徳島大学内）



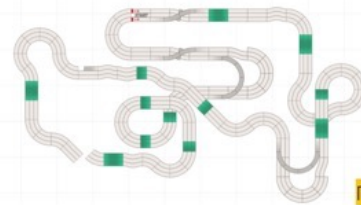
ミニ四駆サーキットの仮組み立て（旧桜谷小学校）



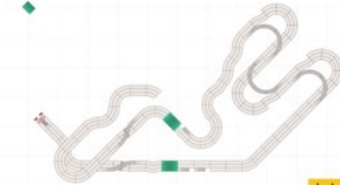
畠中



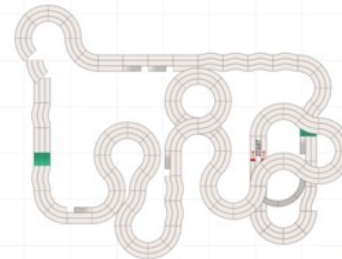
鈴木



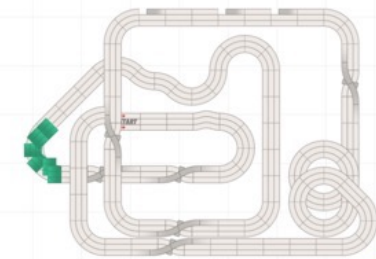
向原



吉村



藤原



谷澤

↑ミニ四駆コースレイアウト作成ツール  
「Mini4WD Online Track Editor」  
を用いたサーキットシミュレーション



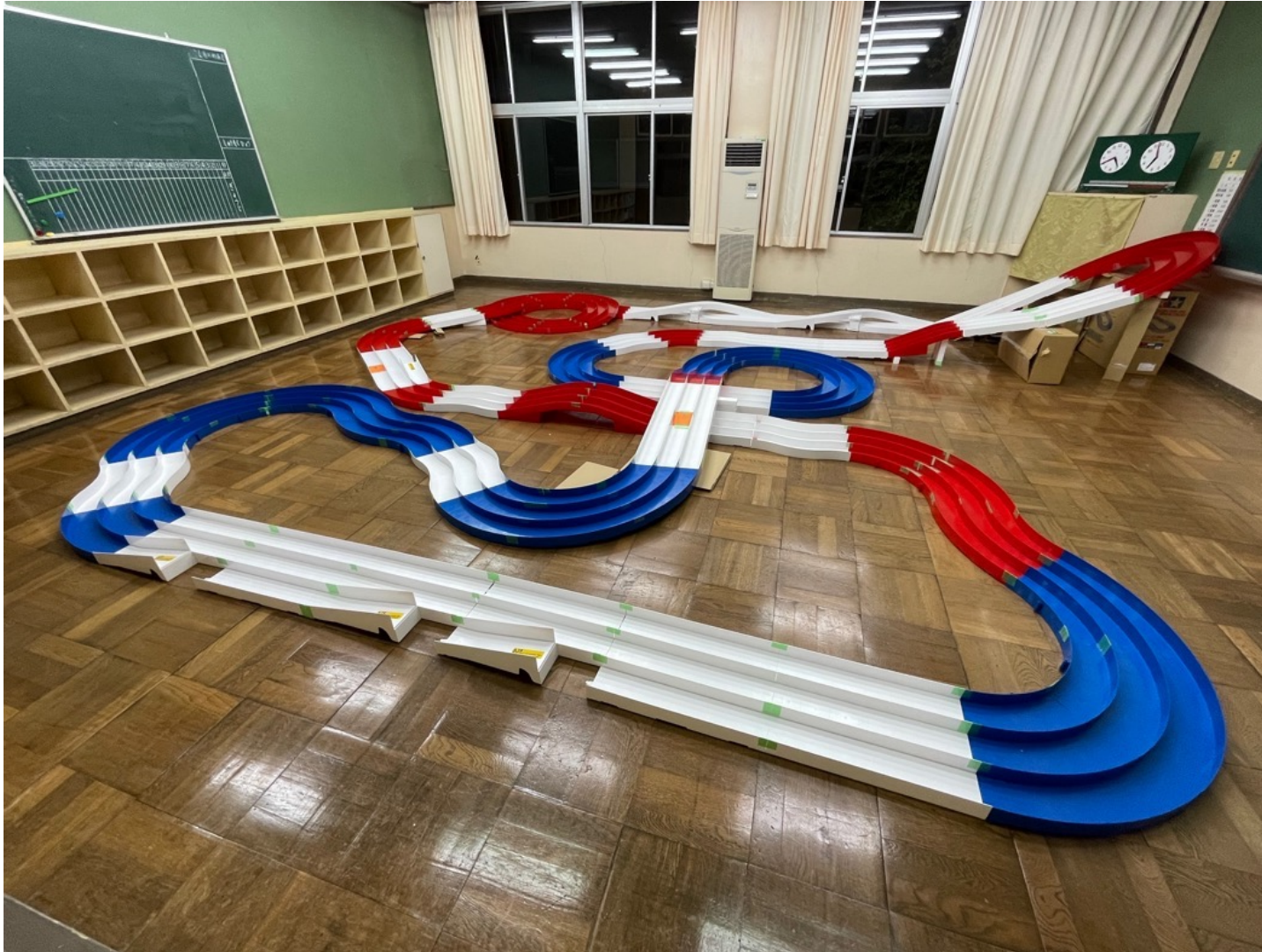
7月

ミニ四駆サーキットの仮組み立て（旧桜谷小学校）



7月

ミニ四駆サーキットの仮組み立て（旧桜谷小学校）



7月

ボランティアスクールにて、小中学生たちが活用



10月

イベント「防災デイキャンプ」でのミニ四駆サーキット出展



イベント「防災デイキャンプ」でのミニ四駆サーキット出展



旧桜谷小学校利活用について町民とのディスカッション（那賀町相生庁舎） →次頁、次々頁に補足あり



ミニ四駆サーキットの本組み立て（旧桜谷小学校）



泉林産さんにて、学生たちの木工体験



# 学生による旧桜谷小学校利活用アイデア

アイデアシート



名称 撮影地として利用

目的 那賀町の活性化

- いつ・どこで (旧桜谷小学校校内やその周辺(吊り橋や集落など))
  - 誰をターゲットに (映画撮影や個人撮影を行っている写真家など)
  - 何を (映画撮影や写真撮影地として開放する)
- 「桜谷小学校、最後の174日」のトレーラーを観させていただいたところ、大自然に囲まれている映像映えのする景色(近くにつり橋があるということも分かっている)が多くみられた。また、小学校も使えるということはそのようなシチュエーションでの映像や写真を撮りたい人にはうってつけの場所であると思う。小型無人機ドローンの教習所の一室を設けたという記事を見たのだが、もしそのドローンを操縦できる方の協力を得ることができれば、空中からの撮影や映像素材の提供など(別途料金の発生も考慮する)も行えるのではないかと考えた。このようなサービスを行うことで、個人での映像制作をしている方や写真家、学生などをターゲットに集客ができるのではないかと考えた。
- また、ここで撮影された映像や写真などの作品が有名になることで、聖地巡礼などを目的とした観光客を得ることができるのではないかと考えている。そこでまた那賀町の魅力を知ってもらい、那賀町を活気づけることができるのではないかと考えている。
- 必要な準備(時間・人数・品物など)
- ・撮影地として使えそうな場所の撮影許可または許可の取り方のガイドブックなど
- [可能なら準備するもの]
- ・ドローンの操縦者
  - ・撮影に必要になりそうな機材など

現場を見て分かった点・変更点

- ・教室が思っていたより昔のまま残っていなかった
- ・体育館や一階のミニ四駆コースをつかった教室、その隣隣の教室、放送室のようなところはまだ小学校の雰囲気が残っていた
- ・教室に授業机がなかったため撮影地として利用するには、用意したほうが良いのではないかと感じた
- ・コワーキングスペースは撮影の準備室や楽屋として使えそうだったが、近代のオフィス風景の撮影地としても使えそうだった
- ・本格的な映画を撮る場所としては、学校の雰囲気が少なすぎるため、個人撮影や部分的なシーン撮影、コスプレヤーなどをメインで進めていくのがよさそう

アイデアシート



名称 紅葉のなかでのサイクリング

目的 大自然を楽しんでもらう・記憶に残る一日に

- いつ・どこで (いつでも・桜谷小学校とその周辺)
- 誰をターゲットに (遠足や校外学習、修学旅行で訪れた子供)
- 何を (サイクリング・紅葉狩り)

タンデム自転車を今回乗ってみて、広大な自然を見ながら風にあたり、みんなでわいわい漕ぎながらの自転車散策がとても楽しかったのが記憶に残っています。この桜谷小学校や、その周辺の地域の持つポテンシャルを活かすアイデアがいいなと考えたので、3月~4月のお花見の時期や、7月~8月の夏の木々が青々とした時期、10月~11月の紅葉が綺麗な時期に、遠足や校外学習で訪れる子供たちに大自然を楽しんでもらいたいと思いました。

具体的には、お昼時には那賀町地域でとれた野菜、果物、穀物を使ったお弁当など、桜や紅葉を見ながら楽しんで食べてもらい、お昼を食べ終えたらみんなでタンデム自転車に乗って、小学校周辺をサイクリングしてもらおうといったような感じです。

○必要な準備(時間・人数・品物など)

- お弁当  
サイクリング用自転車  
乗り方、コース教える人

ミニ四駆サーキットに限らず校舎を活用した地域おこしのアイデアを、学生から那賀町の方々へプレゼンしました。

# 学生による旧桜谷小学校利活用アイデア

アイデアシート



名称 自由研究応援！工作教室

目的 夏休みの自由研究をする機会を作り、遊びに来る人を呼び込む

- いつ・どこで ( 明るい時間・木作業のできる場所 )
- 誰をターゲットに ( 小学生のお子さんがあるご家庭 )
- 何を ( 木頭杉を利用して工作を行う )

夏休み、小学生のお子さんがある家庭で一番困るのは自由研究だと思われます。そこで木頭杉を利用した工作教室を開講することで家族連れを呼び込めると考えました。



左の画像のような輪重ねのランプは杉の特徴である温かみを活かすことが可能です。輪となる部分の幅を細くしたり、輪同士を寄せたりすることで人とはまた違った温かみを出せるという強みがあります。

前回参加させていただいた定例会で出た案である学校にお泊りする企画においてやはり宿泊者数は夏休みに増加すると推測できるため並行して行うことでより効果が発揮されると思われます。

#### ○必要な準備 (時間・人数・品物など)

- ・木材(切削済)
- ・紙やすり
- ・木工用接着剤
- ・その他の工作キット(上図ならソケット、コード、電球)
- ・制作説明のできる方

アイデアシート

名称

## 逆キッザニア計画

目的

廃校活用のため

- いつ・どこで ( 旧桜谷学校 )
- 誰をターゲットに ( 子供時代に戻りたい大人や同窓会を開きたい人達 )
- 何を ( 大人が子供時代に戻れる疑似体験 )

まず、廃校を生まれ変わらせる必要はあるのかという点を疑問視します。

廃校を水族館、カフェ、博物館などに生まれ変わらせ、成功させている事例はありますが、廃校を学校という形で保つことが出来ないのでしょうか？世の中には、たくさんの学校がありますが、自由に使える学校というのはあまりないように感じます。

同窓会を開くとき、自分たちの母校でやりたいというひとは多数いると思いますが、同窓会を開くからと言って、母校を自由に使わせてくれるかというところは普通はNOとなるでしょう。

普段集まらない、義務教育時代の友達と同窓会をするときに、学校というところで集まれば、思い出もあふれかえり、話も弾まるでしょう。

しかし、同窓会を開きたいという方が毎日現れることがないのは重々承知です。そこで、同窓会の依頼がない時には、子供のころに戻れる疑似体験ができる空間を提供するようにします。

具体的には、レストランの代わりに、給食の販売、水彩絵の具で絵を描ける準備を整える、卓球等々です。子供のころにできなかった夢をかなえる。それをコンセプトにした計画です。

#### ○必要な準備 (時間・人数・品物など)

給食を提供する方、用具の貸し出しをする方、受付の方、清掃の方、事務の方等が必要です。用意するものは、絵具や、卓球用具、給食の食材などです。

ミニ四駆サーキットに限らず校舎を活用した地域おこしのアイデアを、学生から那賀町の方々へプレゼンしました。



## 上那賀産業文化祭へのミニ四駆サーキット出展（旧桜谷小学校）

第48回 **上那賀産業文化祭**

2022年12月4日(日) 10時より旧桜谷小学校

**入場無料!**

徳島市出身・在住のシンガーソングライター  
「地元発信自由型」をモットーに活動中。  
コンサート出演ほか、企業CMやイベントの  
テーマソングなども制作している。  
地元ラジオにもレギュラー出演中。  
また、音楽の楽しさを伝えたいと願い、  
保育園や幼稚園、デイサービスなどに  
音楽レッスンや出張コンサートも行っている。  
(童謡、唱歌、歌謡曲など一緒に歌います)

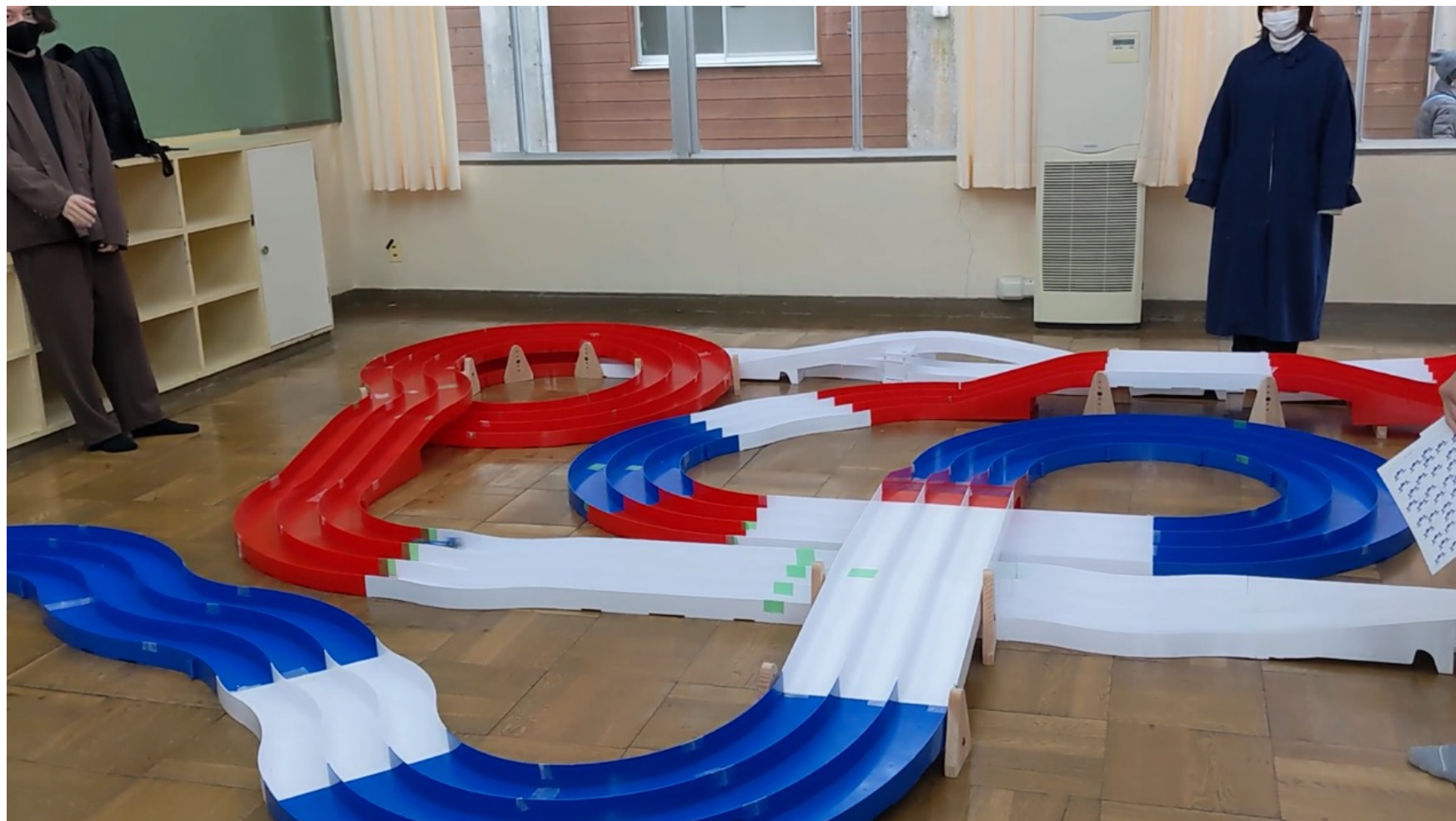
**皆谷 尚美**

**ミニ四駆桜谷サーキット**  
徳島大学の学生さんと一緒に作ったコースです。ミニ四駆は、今の30代から40代のソウダが、小学生のころに流行っていた遊びです。現代でも、いまだに一部に根強い人気があります。桜谷に足を運んでくれる子供が増えるよう、また子供とパパと一緒に遊んでもらい、地域を元気にしてもらえたらいいなという思いで企画しました。試走用のマシンもありますので、是非お手に取って遊んでみてはいかがでしょうか。 (株)もちもちデザイン代表取締役 谷澤勇

**アトラクションプログラム** ※抽選券は当日総合受付でお渡しします! ※プログラムは当日一部変更になる可能性があります。

- 10:00~ 開会式 ●10:20~ ひらだにこども園・小学校 ●11:30~ 那賀町職員バンド
- 13:00~ 芸能発表会 ●14:40~ 皆谷尚美ライブ
- 15:20~ お楽しみ抽選会 ●15:40~ 餅・お菓子投げ、閉会

上那賀産業文化祭へのミニ四駆サーキット出展（旧桜谷小学校）



12月

最後にロゴを取り付けて完成しました



## 活動をふりかえって～学生コメント～ (前半「STEM演習」)

現代、スマホやコンピューターが普及し、オンラインゲームなどが世の中に浸透してきていますが、そのような遊びにも負けないような魅力的な計画が立てられていることに感心しました。  
(学生Yさん)

私が思っていたよりも地方の人口減少問題は深刻であった。そしてこの問題は徳島だけでなく全国でも自分たちが思っているよりも人口減少が深刻になっていると思った。今回の授業を通してまちづくりやまちおこしについての知識不足を痛感したためこれからもっと勉強に勤しんでいきたいと思った。(学生Mさん)

フィールドワークを通して、田舎には人を元気にする力があることを知ったと同時に、それに気付いていない多くの人に知って欲しいと思った。那賀町だけではなく、魅力があるにも関わらず過疎化が進んで困難な状況に陥っている地域が全国にはたくさんある。そういった地域に賑わいをもたらすにはどうすればいいのかという問題に興味を持てた機会になった。(学生Hさん)

## 活動をふりかえって～学生コメント～（年度後半「実践・地域創生学」）

現地に行くことの重要性を見つけることができました。実際に行かせていただいてそこにあるものを見たり現地の人のお話を聞かせていただいたりして、**田舎は不便で何も無いというマイナスのイメージが、街中で出来ないことが出来ることに加え非日常感を味わえる**つまり都会に無いものを補完するというイメージに変わりました。（学生Yさん）

地域おこしのために全員で協力してよりよくしようとしている姿を見て、自分も何かできることはないかと思い、いろいろ試行錯誤するようになった。そのこともあり、何かに対して全力で取り組むことで自分がそうであったように、**誰かの心を動かすことができるのだと、今回のプロジェクトの参加で学ぶことができた。**（学生Tさん）

学んだことはたくさんあったが、中でも『町おこし』という課題の重要性と、その難しさを身をもって感じた。**現地の本当の魅力は、やはり現地に足を運んで初めて実感できる。**ただ、その一度足を運んでもらうのがなによりも難しく、どのようにして情報として魅力を発信していくのが一番の課題であると思った。それらの面で、**那賀町では様々な手法で魅力の発信に取り組んでおり、大変勉強になった。**（学生Eさん）

**グループの人たちと協力して、何か一つのことを成し遂げられたことがとても良かった**なと思う。実際にプロジェクトに参加して**自分の意見やアイデアを聞いてもらう機会なんて、なかなか無いからこそ、頭に浮かんだアイデアなどはすぐに伝えたり発表したりすればよかった**と思う。（学生Oさん）

# 今後の展望

廃校を活用し、ミニ四駆のサーキットを行っているところはいくつかあります。



くらて学園(福岡)

source: <https://sasatto.jp/article/entry-2675.html>



飯豊小学校(福島県)

source: <https://www.arukunet.jp/39784/>

また、いまもミニ四駆は子供たちや大人たちに根強い人気があります。



source: <https://originalnews.nico/244762>



source: [https://www.youtube.com/watch?v=Q8M62m2th\\_s](https://www.youtube.com/watch?v=Q8M62m2th_s)

今後は、このミニ四駆サーキットを用いて、県内外からミニ四駆レーサーを集めた大会を行うなどして、賑わいを取り戻す基点として活用していけるとよいと思っています！

THANK YOU!



参加学生集合写真2 (実践・地域創生学)



参加学生集合写真1 (STEM演習)